

令和7年度 かめやままちづくり協議会 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・継続課題である亀山学区の安心安全なまちづくりのため防災訓練を実施するとともに、各構成団体のイベントなどを通じた活性化の支援することができた。
・地域住民のニーズ調査基本方針の策定について関係行政機関等へのインタビューを実施した。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	亀山学区の安心安全なまちづくり	(3)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年12月21日	
(2) 実施場所	防災訓練 (亀山中学校)	
(3) 参加者数	約220人	
(4) 主催団体	団体名 かめやままちづくり協議会・亀山学区自主防災会連合会	
4 取組内容	亀山地域の安心と安全なまちづくりのため、自主防災会との連携により防災訓練を多くの団体の協力を得て実施した。気象予報士の中本栞奈さんを講師に迎えて気象予報から見た安心安全な情報への接し方や避難の重要性などを聞いた。安佐北消防署によるドローンを活用した訓練の模擬なども行われた。食料配布の手順を確認するためにパンと飲み物の配布なども行った。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	今までの避難訓練と異なり、各団体や地域に動員ということでは参加人員等を依頼せず、それぞれの判断で避難訓練に参加してもらうようにしたことで、自主的な防災・減災意識の向上を図ることができた。	
(2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	各地域で防災・減災の意識の向上や自主的な参加を基本としたことで、住民が共通の目的のために自発的に一緒に声をかけながら参加したことにより避難路の共有や、近隣地域の協力体制の連携が進んだ。 安心安全のまちづくりに向けた啓発意識の向上に努めることができた。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	各構成団体のイベントなどを通じた活性化の支援	(3)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	亀山地区内 (かめやままちづくり協議会活動拠点、各種イベント会場等)	
(3) 参加者数	約400 人	
(4) 主催団体	団体名 かめやままちづくり協議会	
4 取組内容	かめやままちづくり協議会の構成団体が主催する各種イベント等について共催することにより、チラシの作成や広報・周知を支援し亀山地区全体の活性化と交流を促進させた。 ・構成団体からの要請に基づいてチラシの作成(5件) ・かめやまLMOのホームページへ構成団体や行政機関のイベントなどを掲載した広報(25件) ・のぼり旗30枚(ポール・台付き) ・イージーテント1張り購入し構成団体への貸し出しを通じて広報や支援 ・長高机10脚購入し構成団体への貸し出しを通じて支援	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	かめやまエルモに参加している各団体で実施するイベントなどについて、チラシの作成印刷などを支援することで、イベントの円滑な実施ができた。また、このチラシなどを地域に広報することで他の団体でもイベントなどの実施について互いに共有できる。ホームページへの掲載を通じて広く情報発信でき、周知が広がって参加者の増加傾向につながった。	
(2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	各団体のイベントの開催に当たり、亀山エルモののぼりなどを立ててエルモの周知を図り、エルモの存在意義を地域に発信することができ、地区全体の活性化と交流の場を創出することができた。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	地域住民のニーズ調査基本方針の策定	(3)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(13) 地域課題等の把握に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	亀山地区内	
(3) 参加者数	約30人(大学、社協関係者等)	
(4) 主催団体	団体名 <u>かめやままちづくり協議会</u>	
4 取組内容		
亀山地区の住民ニーズについて、広島大学と連携協定を結び、大学の先生によるエルモ構成団体への説明を行い、関係行政機関等へのインタビューを実施した。また、構成団体へのインタビューは令和8年度になって実施することとし、日程調整などについて、大学と調整した。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 今後のかめやまエルモが地域課題に取り組むために長期的な展望と地域ニーズを把握していく必要があるため、広島大学と連携協定を結び協議を行った。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。) 限られた資源を有効に活用しながらニーズの把握が図れるように、7年度と8年度の2か年事業として取り組むこととし、行政、区社協、地域包括などへのインタビューを実施し、7つのテーマと内容ごとのカテゴリーに分類してもらった。		

3 自主財源で実施した事業

特になし